

測定をご希望の太陽電池モジュールとともに、それと同等の分光感度特性を持つ小サイズのサンプル(分光感度測定用セル)をご提出いただきます。各々の測定サンプルの要求事項は下記の通りです。

太陽電池モジュール

- 測定架台は横置きとなっており、上下から挟み込む構造となっていますので、湾曲しないよう十分な強度を持たせて下さい。
- コネクタを経由して出力を取り出す場合は、コネクタ付ケーブルをご用意下さい。ケーブルの一方にはモジュールと同じコネクタを、もう一方は絶縁被覆を剥いて出力を取り出せるようにして下さい。また、ケーブルの先端付近には極性を表示して下さい。
- 識別番号が記載されたラベルを貼付下さい。
- モジュールの最大サイズは、2.0×1.4mです。また、最大重量は50kgです。
- 測定可能な電流、電圧範囲は、大電流側が20A、60V 又は10A、120V 以内、大電圧側が300V、2.5A 又は150V、5A 以内です。
- 測定対象種類は、結晶系と単接合アモルファス系ですが、その他につきましては、別途ご相談下さい。

分光感度測定用セル

- 被測定モジュールと同じセル、部材(ガラス、充填材等)を使用し、同一構造(同等の分光感度特性)として下さい。
- 単色光のビームサイズは2×2cmです。結晶系等で単一のセルであれば、部分照射により測定が可能ですので、図1のように1セルをラミネートして下さい。薄膜系等で複数のセルを直列に接続してある場合は、セル寸法を2×2cm以内として下さい。又は、図2のように、アクティブセルの幅が2cm以内となるよう、電極を取り出して下さい(図では中央の2セル分の出力を取り出しています)。なお、JIS型パッケージセルでも問題ありません。
- ガラスを含めた全寸法は、20×20cm程度以内として下さい。
- 平坦な台に設置しますので、裏面の平坦性を確保下さい。
- リード線等により出力を取り出し、極性を表示して下さい。また、出力線には張力がかかりますので、強度を確保して下さい。
- 薄膜系の場合は、事前に光照射を十分行い、安定化させて下さい。

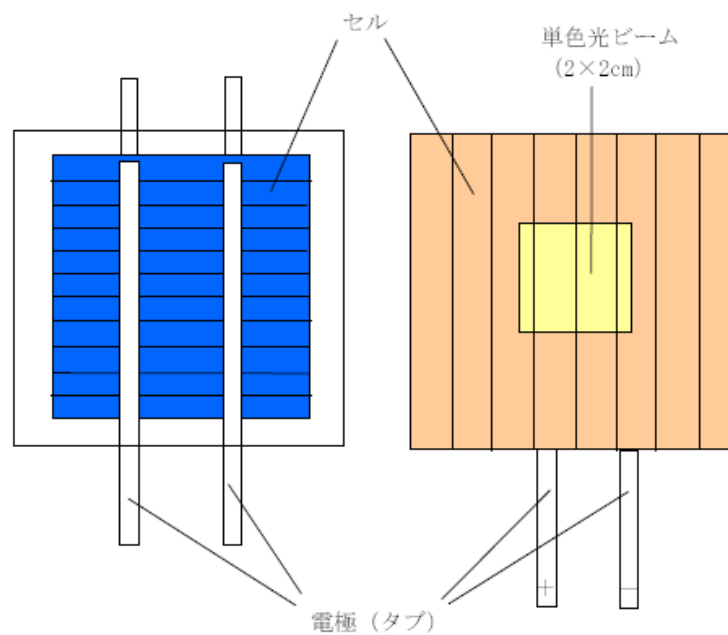


図1 結晶系

図2 薄膜系